

令和6年3月わくわくたべもの集会指導案

保育園

月 日()

1. テーマ : 体の中のひみつ

2. ねらい : 食べ物の消化・吸収を知り、自分の健康に関心を持つ
 <食と健康>

3. 展開

時間	主な内容と活動	配慮事項
	○挨拶	
導入	1. どうして毎日ご飯を食べるのかを聞く。	○なぜご飯を食べるのか考えさせる。
展開	2. 紙芝居「タネくんの体の中のぼうけん」5分程度	
	3. 食べ物がうんちになるまでの旅を説明する。 (エプロンシアター使用) ・よく噛む ・体の中の旅が始まる ・うんちとして体の外に出る。(旅の終わり) ※エプロンシアターで小腸の長さを確認する。	○よく噛むと、どんな良いことがあるのかを知らせる。 ○体の中がどうなっているのか、食べ物がどのように旅をしているのか、イメージさせる。 ○食べ物が長い旅を終えてうんちとして出てくることを理解させる。
	4. 良いうんちを出すために必要な事を考える。 ①好き嫌いなく何でも食べる ②しっかりと運動をする ③早寝早起きをして、よく眠る	○良いうんちを出すために必要なことは何かを考えさせる。
	5. ○×クイズ ①ご飯はよく噛んで食べる(○) ②食べ物は食べたらずぐにうんちになる(×) ③良いうんちを出すためには好き嫌いしないで何でも食べる(○)	○クイズで理解できているかを確認する。
	5. まとめ ○好き嫌いをしないで何でも食べ、運動をし、しっかりと眠り、うんちを出すように伝える。	○食べ物が体内で消化吸収され残ったカスがうんちとして排出されることを理解し、朝すっきりとうんちを出すと、1日元気よく遊べる事に気付かせる。
	○終わりのあいさつ	

※使用するもの: 紙芝居「タネくんの体の中のぼうけん」、エプロンシアター(なんでも食べる元気なまあちゃん)、おやこシェアカード

※園にて用意していただきたいもの : 子ども用机1台

令和6年3月わくわくたべもの集会指導案